



今年の漢字・来年の漢字

2学期も残りわずか。そして、今までとは全く違う日常になってしまった2020年もあと少しで終わろうとしています。

年末恒例の日本漢字検定協会が募集する今年の漢字に、『密』が選ばれました。右の写真は、清水寺の貫首が揮毫(毛筆で文字や絵を書くこと)されたものです。

言うに及ばず、『密』は密接・密集・密閉を避けましょうという新型コロナウイルスに対する感染症対策の象徴的な言葉です。そして、今現在も、私たちが注意を払わなければいけない新しい生活様式です。



ところで、皆さんは、年末に「来年の漢字」を揮毫している神社があることを知っていますか？私たちが住んでいる和歌山県にある世界遺産、熊野本宮大社です。こちらの宮司さんが年末に来年への願いを込めた一文字を揮毫されます。

令和3年の漢字は「前」という字でした。そして「～未来・夢

・目標に向かって～」という言葉が添えられています。

熊野本宮大社のHPには、「令和2年は新型コロナウイルスが流行し、多くの人々が困難に直面し、悩み、自らの道を模索した年であったことでしょう。令和3年は新型コロナウイルスが終息し、「未来・夢・目標」に向かって、自分の歩幅で少しずつでも「前」に進んで頂きたい。」という宮司さんの言葉が掲載されていました。私は、この漢字と言葉を読んで、なんだか勇気と希望がわいてきた気がしました。

♪「ふりむくな後ろには明日はないから 前へ 前へ」♪

《あなたの来年の一文字は何ですか》